令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【辻小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)自ら学び、学びを深めることができる資質・能力 (2)自ら課題を見出し、関わり合いの中で考えを深め、豊かに表現できる資質・能力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)タブレット端末を活用し、一人ひとりが自身の課題に応じて学習を進めたり復習したりすることができる授業の実施。【通年・各単元】 (2)発達段階に応じた学び方を知り、繰り返し取り組むことで資質・能力が高められる授業の実施。【通年・各単元】

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上(達成)　B 6割以上(おおむね達成)　C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・国語の「話す・聞く」領域において全国の平均正答率を上回る結果がみられた。 ・算数の「思考・判断・表現」の領域において、全国の平均正答率を下回り、課題がみられた。 ・「国語の勉強が好きだ」「算数の勉強が好きだ」の項目で肯定的な回答が多くみられた。 ・「学校に行くのが楽しい」「先生がよいところを認めてくれる」「人と違う意見を言っても否定されない」などの項目で肯定的な回答が多くみられた。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・学校生活への満足度や自己肯定感、授業への意欲が高く、互いの意見を尊重し、安心して自分の考えを発表・協働できている。 ・国語の文脈に即した漢字活用や、算数の表からの条件読み取り・根拠の記述など、複数の情報を関連付けて自らの考えを形成・表現する力に課題がある。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※) B	学力向上策(1)・(2)ともに実施することができている。児童の実態に合った課題や環境整備を進めるとともに、職員の研修を引き続き深め、より適切な指導ができるようにしていく。
⇓		
学力向上策の見直し	(変更なし)	

※評価　A 8割以上(達成)　B 6割以上(おおむね達成)　C 6割未満(あと一歩)